

# みどり清流

2001年10月発行

第1号

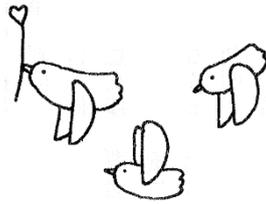
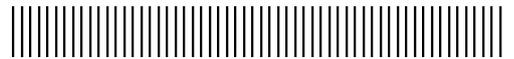
発行 日本共産党 中野あきと事務所  
☎599-3350 発行責任者 中野昭人



## 自衛隊の参戦法 きっぱり中止を!! テロ根絶には 報復戦争への 参加ではなく “法に基づく裁きを”

テレビや新聞で“軍事報復一色”の報道が続くなか、「国際法と理性」に基づくテロ根絶の声を起こし、行動に移す事が急務となっています。

中野あきと市議も議会の合間をぬって、街頭で、駅頭で、訴えを続けています。



### 南部医療施設用地の処分方針 ちよと待った、住民不意打ち

南部地域住民の「命と健康を守る医療施設を」の願いに  
応えて確保されていた高幡不動  
駅裏の医療施設用地が、民間  
のマンション開発業者へ売却  
却されるといふ新聞報道は、  
南部医療施設の建設をめざし  
て長年運動を進めてきた関係  
者はもとより、用地周辺地域  
の住民を驚かせています。



医療施設用地で行なわれている運動会

馬場市長は、八月三十日の記者会見でこの事を突然発表。これ以上広大な用地を確保し続ける事が困難になったとして、民間の開発業者に売却、マンションを建設すると説明しました。

また、このマンションの低階層には五科程度の診療所や百人規模の民間保育園のスペースを確保し、市内で経営する診療所や保育園に分譲・処分し、得た収益は総合体育館の建設に当てるとしています。

### 市民不在の抜き打ち計画

この用地は、これまで地区広場として、子どもたちの遊び場、地域住民のレクリエーションや憩いの場、保育園などの運動会の場所として、広く市民に活用されてきました。

ところがこの処分方針は、昨年一月頃から、市民・地域住民や議会にも何の相談もなく、秘密裏に進められてきました。市議会には、この用地に「市立病院と連携する南部診療センター」の建設を求める「請願」が提出され、審議がされているのに、市は全く説明をしませんでした。

マンション開発業者への突然の処分方針は、この地域の将来の街づくりを進めていく上でも一方的に行なうことのできる問題ではありません。

馬場市長は「市民参画の市政」を看板に掲げ、「計画段階から市民参画を広めたい」といつてきました。

処分方針を白紙にもどし、用地の活用方向を、改めて市民に問うべきです。

### 中野あきと事務所ニュース 「みどり清流」発行にあたって

日頃のご支援、ご協力、有り難うございます。

この程、中野あきと事務所では『しんぶん赤旗』読者の皆さんや、日本共産党の活動や政策などに興味を持っておいでの幅広い地域の皆さんにむけて、中野あきとの事務所ニュース『みどり清流』を発行することに致しました。

市政はもとより、この地域の出来事、日本共産党の政策や活動などもご紹介したいと思えます。

当面は月一回の発行としますが、状況に応じて随時の発行も、していくつもりです。

お読み頂いての感想やご意見、投稿もお待ちしています。

ご愛読の程、よろしくお願ひ致します。

中野あきと



# 『疑惑』の多い日野市の公共工事

## 入札・契約のあり方をめぐって

中野あきと

「一番橋」かけ替え工事では

馬場市政になって毎回のようにな『談合情報』が飛びかうようになって日野市の公共工事。四期に分けての工事、その都度入札が行なわれた「一番橋」のかけ替え工事でも、過去三回のときと同様に四期目の今回も『談合情報』が流れ、いったん入札が延期となりましたが、結局これまで通り「本命」とされた情報どおりの業者が落札しました

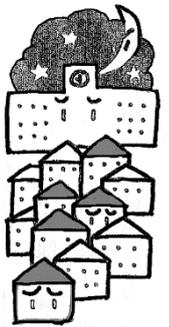
ところがこの落札業者が他市では指名停止中で、日野市の『指名基準』にも反している事が判明、困った市は、二番目、三番目に低い価格を提示した業者と随意交渉を行ないました。

しかし、これらの業者もなんと他市で指名停止である事が判明、結局四番目の業者と随意契約を結ぶという事態となりましたが、参加資格のなかった業者を三社も市は指名していたことになりました。

日本共産党市議団は「こんな異常な事態が起こったのだから、入札業者も入れ替えて、やり直すのが当然」として契約議案に反対しましたが、自民、公明、市民ク、清流・ネット、社民の賛成で可決されました

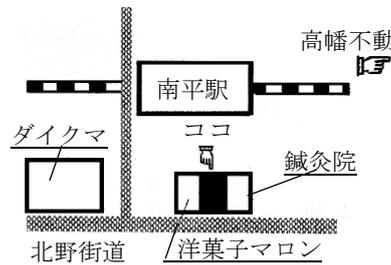
### 下水工事でも

その他にも、先ごろ新聞で報道された市の問題、下水道工事をめぐって河内久男助役が、工事発注先の新都市建設公社に助役名で公文書を発送し、入札に当たって特定業者の名をあげて「特段の配慮を」と働きかけていた問題も重大です。



九月議会の一般質問での共産党中谷市議の追求に同助役は、地元業者の応募の受け付けに「配慮を」といったままで、と逃げきろうとしましたが、受け付け日以前ではなく、受け付け締切日の七月四日に公文書を発送している事や、同市議の聞き取り調査によれば、公社は「応募のあった業者はいつでも受け付ける」と言っていることを考えれば、これは十日の「入札」への働きかけであることは明白です。市の公共工事をめぐることのような異常な事態が続く中で、その真相を市民に明らかにしていくと共に、透明で公正な入札制度に改善していく事が急務です。企業献金に無縁な党として、その責務を自覚して全力を尽くします。

## 南平の商店街に 中野あきと事務所開設



共産党中野あきと市議の事務所が、北野街道沿いの南平商店街の一面にこの程開所しました。

かねてから地元の支持者の方や共産党支部の中で、「地域活動のセンターになるような場所がほしいね」と、言われていた事が実現しました。場所は駅からも至近距離の商店街のど真ん中、人通りも多い格好の位置にあります。

地域活動の拠点として、また、来年二月の市議選の根拠地として、その役割が期待されます。

近日中に事務所開きを行います。ぜひ、お立ち寄りのほどを。



### 短信

「新都市建設公社では、応募のあった業者はいずれも受け付けると言っている」「しかも助役の働きかけは、日程的にもすでに受け付けられている時点でのもの」「これは指名に入れてもらいたいという発注者からの圧力にはかならない」。市の発注した下水道工事をめぐり特定業者への指名働きかけで「地元業者の受け付けに配慮を」といったままで、かわそうとする助役に釘を刺した共産党中谷市議の追及。市長は質問の表題が大げさで憶測に満ちたものと難癖をつけたが、まさに表題どおり助役の『勇み足ではすまされない』。▽「他の団体に市の意思を伝えるのに、市長名以外で行なってはならないはず」。市の公文書規定に照らしても今回のケースは助役の越権行為と中谷市議。答弁不能となった市長に「助役に協が甘いと注意したというが権限を助役に犯された貴方こそ協が甘い」とピシヤリ。

▽軍事報復一辺倒の日本のマスコミ。テロ根絶に向けてあがる内外の理性の声は聞こえないのか。こんな時にこそ貴重な『しんぶん赤旗』の報道。多くの人の目にと願って、中野事務所でも目抜き通りの道行く人に向け、『赤旗』専用の掲示板を掲げている。